

令和2年度 金融経済教育研究授業 指導計画

大阪市立東高等学校

【対象】 2年（普通科1組～5組、英語科E組）、2年（理数科A・B組）

【単元名】 家庭基礎「消費生活と経済」
教科書 新家庭基礎「今を学び未来を描き暮らしをつくる」（教育図書）

【単元の指導計画】 全8時間

【単元・題材で育成する資質・能力】

- ・ 家庭経済と社会の関わりを知ると共に家計管理について理解する。
- ・ 将来のライフイベントやリスクに備え安定した家庭経済を運営し持続可能な消費生活を目指す。
- ・ 契約で成り立つ消費生活の中で暮らしていることを認識し2022年の成年年齢引下げに備える。

【教材を活用した授業実践】

項目	使用教材など
<p>●家庭経済の基本、収入と支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収入と支出の種類 ・ 家計の仕組み ・ 自己の未来の生活設計を考える (働き方・雇用形態・生活におけるリスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書、ワークプリント ・ マナブとメグミのお金のキホン BOOK ・ 生活設計・マネープランゲーム
<p>●契約と消費者問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの契約行為 ・ 間違った契約によるトラブルと対策 ・ キャッシュレス対応 (見えないお金との付き合い方を自分の消費傾向から選択し正しく使用することができるか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書、ワークプリント ・ マナブとメグミのお金のキホン BOOK

【単元の評価基準】

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収入と支出を基盤に日々の生活を営むという繰り返し行われる経済行動が一つの家庭経済を築きあげていることに気付くことができる。 ・ 様々な消費者問題を自分事として向き合おうとしている。
思考・判断・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未来の生活における家庭経済を自己管理できるよう考察している。 ・ 消費者問題において適切かつ冷静な判断ができるか考察している。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学卒業後から約10年間の生活を想定し、生活設計のプランを立てることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭経済が日本経済の重要な歯車の一つであることを理解している。 ・ また、家庭経済における用語の意味を理解して活用することができる。 ・ 契約の意味と仕組みを理解している。

【単元の指導計画】

日時	学習内容	学習活動・ねらい	評価基準
1 1月6日 (水) 10:45 ～ 11:35	<ul style="list-style-type: none"> ・成人年齢引下げについて ・国民年金を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳成人の責務 ・国民年金は誰が何のためにいつからいつまで支払うのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳成人の責務がまもなく自分ごとになることを知る ・年金が互助であることを知る
2 1月6日 (水) 11:45 ～ 12:35	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの費用と対策 ・自助努力と公的支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにおける費用と対策を知る ・費用は自助努力と公的支援で賄われることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・公的支援について理解する ・老後資金の必要性と老齢年金の給付について理解する ・預金の利息が計算できる
3 1月13日 (月) 10:45 ～ 11:35	<ul style="list-style-type: none"> ・給与明細について ・税金・社会保険の種類とそのはたらき 	<ul style="list-style-type: none"> ・給与明細に記載されている項目（基本給・控除・手当・差引き支給額）について <u>授業レポート①</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金と社会保険料の種類と、誰がどのような時に支払いが発生するのか理解する ・貯蓄の重要性を知る
4 1月13日 (月) 11:45 ～ 12:35	<ul style="list-style-type: none"> ・家計におけるフローとストック 	<ul style="list-style-type: none"> ・フローについて 経常収入、特別収入、実収入以外の受取、消費支出、非消費支出、実支出以外の支払 <u>授業レポート②</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・フローとストック 資産の増減、見かけの増減について知る
5 2月1日 (月) 13:20 ～ 14:10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の理想の生活をシミュレーションしてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活設計・マネープランゲームを通して、お金の視点から将来をシミュレーション <u>授業レポート③</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生の三大資金について知る
6 2月1日 (月) 14:20 ～ 15:10	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者を守る制度・法律を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な契約について ・権利と義務の発生について ・消費行動における留意点 <u>授業レポート④</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育を自分ごととして考えられる ・ニーズかウォンツかを考える ・機会費用の大きさを考える ・消費者問題対策の制度・法律を理解する
7、8 2月8日 (月) 13:20 ～ 14:10	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス時代を生きる ・消費者信用の仕組みを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・決済方法の種類 ・クレジットカードの機能・注意点 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい対応ができるよう、見えないお金の動きに敏感になる ・クレジットカードの仕組みを知る

【指導と評価計画】

時間	学習活動	指導上のポイント／【評価】
1	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年年齢引下げについて ・国民年金について知る <p>【導入】</p> <p>『いつから18歳成人？』 / 『18歳成人になぜなる？』</p> <p>【本題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳成人の責務（契約が可能になる） ・国民年金はだれが何のためにいつからいつまで支払うのか <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の重要性と賦課方式について理解する 	<p>【思・知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳成人にできることをクイズ形式で考える ・18歳成人の責務が間もなく自分ごとになることを知る ・年金は互助であることを知る
2	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージにおける費用と対策を知る ・費用は公的支援と自助努力で賄われることを知る <p>【導入】</p> <p>『人生の三大資金』とは？</p> <p>【本題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生の三大資金（教育・住宅・老後） ・就職から老後、旅立ちまで人生にかかる資金 ・公的支援の一部 出産一時金 育児休業給付金 児童手当 児童扶養手当 義務教育の無償化 住宅ローン減税 介護保険 老齢年金 ・人生のリスク対策の一部 金融商品（預金・投資・株） 保険 iDeCo 金融商品の3つの指標（安全性・収益性・流動性） <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生を少しでも万全なものにするために、金融商品や保険の重要性について理解を深める 	<p>【関・思・知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的支援について ・老後資金はいくら必要か？ 老齢年金は65歳から給付給付から何年で取り戻せる？ ・現在の金利で預金利息を計算してみよう（高度経済成長直後とバブル期の金利を比較） <p>☆マナブとメグミのお金のキホン BOOK 5、6頁・11～16頁</p>
3	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与明細を読み取る／税金・社会保険の種類とそのはたらきについて知る <p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与明細に記載されている項目（基本給、控除、手当、差引き支給額）とは何か？ <p>【本題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の根幹（憲法25条：生存権の保障）について ・税金（国税、地方税）と社会保険＝自分との関わり ・国民年金と厚生年金（第1号～第3号の被保険者） <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本における社会保障制度の重要性とそのあり方 ・可処分所得の使い道については次時の学習に繋がることを伝える 	<p>【関・知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金と社会保険の種類 誰がどのような時に支払いが発生するのか ・貯蓄の重要性 <p>☆マナブとメグミのお金のキホン BOOK 9、10頁</p>

4	<p>【目的】 ・家計におけるフローとストック</p> <p>【導入】 収入－支出＝貯蓄 収入－貯蓄＝支出 } どちらがより多く貯蓄できますか？</p> <p>【本題】 ・フローについて 経常収入、特別収入、実収入以外の受取 消費支出、非消費支出、実支出以外の支払</p> <p>【まとめ】 収支表の作成を通して家計のフローとストックを体感的に 自分ごととして理解する</p>	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フローとストック 実際の資産の増減について 見かけの資産の増減を知る ・収支表の作成
5	<p>【目的】 ・お金の視点から将来をシミュレーションする（22歳～40歳） ・貯蓄の難しさやその必要性を知る</p> <p>【導入】 『自分の理想の生活をシミュレーションしてみよう』</p> <p>【本題】 第1段階：22歳～30歳（就職し独立） 第2段階：31歳～40歳（様々なライフイベントを経験） 第3段階：住居の購入について検討する</p> <p>第1段階</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 仕事の特徴に応じた収入カード（3枚）から1枚選択 ② ①の年収に応じた非消費支出を資料集から探して記入 ③ 自分の生活に応じた基本生活支出カード（3枚）から1枚選択 ④ 自動車購入の検討（購入の場合はランクも検討） ⑤ 保険加入の検討 ⑥ ①～⑤の収支を計算し、30歳時点の貯蓄額と思い出ポイントを算出 <p>第2段階</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑦ 結婚する・しないを選択 ⑧ 結婚する場合は DINKS か DEWKS（子育て）を選択 ⑨ 収入の見直し、基本生活支出、非消費支出 ⑩ 自動車購入と保険加入の検討 <p>第3段階</p> <ol style="list-style-type: none"> ⑩ 住居の購入を検討 購入か賃貸か ⑪ ⑦～⑩の収支を計算し、40歳時点での貯蓄額と思い出ポイントを算出 <p>【まとめ】 それぞれがシミュレーションした生活設計とマネープランの結果を踏まえ、40歳時点での貯蓄額で様々なイベント・アクシデントを乗り越えることができるか考える *貯蓄額が多額のマイナスになった場合は、どの時点でどのように軌道修正を行うと良いか振り返りを行う</p>	<p>【関・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時学習内容の家計のフローとストックを踏まえて活動する ・第2段階では、人生の三大資金について意識 ・保険の役割に気付く ・収入カードの見直し有り <p>☆生活設計・マネープランゲーム マネープランシート／資料集</p>

<p>6</p>	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な契約について ・消費者を守る制度・法律を学ぶ <p>【導入】</p> <p>『日常の中にある契約について考えてみよう』</p> <p>【本題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の中にある販売方法について 店舗販売、ネット販売、訪問販売など ・契約＝権利と義務の発生 身近な契約について ・消費行動における留意点 機会費用、needs と wants、情報リテラシー ・消費者の権利を守る法律と制度 消費者基本法 特定商取引法 製造物責任法（PL 法） 消費者契約法 <p>【まとめ】</p> <p>消費者は守られるだけの存在ではなく、自らアクションを起こし消費者市民社会に参画することが、これからの消費者の責務でもあることを理解する</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者教育を自分ごととして考えられる ・機会費用、needs と wants を考える <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者問題に対する制度・法律
<p>7 ・ 8</p>	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス時代を生きる ・消費者信用の仕組みを知る <p>【導入】</p> <p>『1,000 円の本を購入しました。あなたの決済方法は？』</p> <p>【本題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決済方法の種類 現金払い プリペイド払い 電子マネー デビットカード クレジットカード ・クレジットカードの機能・注意点 販売信用と消費者金融の機能 クレジットカードの 4C IC チップと磁気ストライプ クレジットカードに関する重要キーワード 遅延損害金 商品引き上げと強制執行 善管注意義務 会員保障制度 ・クレジットカードによる三者間契約とその利益 期限の利益 販売機会の増加 手数料／年会費 ・クレジットカードの支払方法の種類 分割払いとリボルビング払いの返済シミュレーション ・クレジットカードによる多重債務 多重債務シミュレーション 任意整理、特定調停、個人再生手続き 自己破産とその後の生活 ・その他 上限金利 総量規制 <p>【まとめ】</p> <p>キャッシュレス化が進む中でのお金の管理、決済方法の特徴を正しく理解し行動することの必要性を理解する</p>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス化に正しく対応できるよう、目に見えないお金に敏感になる <p>【知・関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカードの仕組みを知る ・クレジットカードを持つ意味を考える <p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借金が雪だるま式に増えていった場合、その後の生活はどのようなようになるのか考える